

会 議 録

会議の名称	第1回小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会
事務局	生涯学習部生涯学習課
開催日時	令和6年3月11日(月) 18時00分から19時30分まで
開催場所	市役所第二庁舎8階801会議室
出席者	委員長 金子 嘉宏 委員 副会長 塩原 真一 委員 委員 瀧島 啓司 委員 倉脇 雪夜 委員 天本 晋平 委員 大林 基 委員 板垣 智徳 委員 梶野 政志 委員 島田 剛 委員 鈴木 哲也 委員 瀬沼 将己 委員 砂子 啓子 委員 中村 彰宏 委員 依田 隆夫 委員
欠席者	委員 下島 陸矢 委員 川原 美紀 委員
事務局	教育長 大熊 雅士 生涯学習部長 梅原 啓太郎 生涯学習課長 三浦 真 スポーツ振興係長 越 元宏 スポーツ振興係主任 津田 理恵 スポーツ振興係主事 矢島 幸子 指導室長 加藤 治紀 指導室統括指導主事 田村 忍
傍聴の可否	可 一部不可 不可
傍聴者数	1
傍聴不可等の理由等	-
会議次第	1 委嘱状の交付 2 自己紹介 3 正副委員長の互選 4 小金井市学校部活動の地域連携の在り方について(諮問) 5 会議の運営等について 6 国、東京都の動向、小金井市の現状について 7 その他
発言内容・発言者名	別紙審議結果のとおり
提出資料	別紙のとおり

三浦課長 皆様、こんばんは。定刻を若干回りましたけれども、始めさせていただきますと存じます。

これより小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会の委嘱状の伝達式から始めさせていただきます。

委員長が選任されるまでの間、司会のほうを進行させていただきます生涯学習課長の三浦と申します。どうぞよろしく願いいたします。

なお、本日、川原委員から御欠席の連絡をいただいておりますので、あらかじめ御報告を申し上げます。

委嘱状でございますけれども、本来であれば教育長が皆様の机を回らせていただいて配付させていただくところでございますが、お時間の関係もございますので、略式にて、皆様の机上に配付をさせていただきました。大変恐縮でございますが、お名前等々に誤りがないかだけ御確認いただきたいと思います。

それでは、小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会の委員につきましては、令和6年3月11日、本日付で委嘱をさせていただきます。任期につきましては、令和8年3月31日までとなっておりますので、どうぞよろしく願いを申し上げます。

続きまして、本日の資料の確認に進んでまいります。

(配布資料の確認)

三浦課長 それでは、次第に沿って進んでまいります。

次、1議題(2)、自己紹介でございます。まずは事務局のほうから紹介をさせていただきます。教育長からお願いします。

大熊教育長 小金井市教育委員会、教育長の大熊と申します。多くの方々にお目にかかっていたと思いますが、今度は新しい地域活動のことについて考えていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

梅原部長 生涯学習部長の梅原と申します。よろしく願いいたします。

三浦課長 改めまして、生涯学習課長、三浦と申します。どうぞよろしく願いいたします。

越係長 改めまして、生涯学習課のスポーツ振興の係長をしています越と
いいます。よろしくお願いいたします。

津田主任 同じくスポーツ振興係の津田と申します。よろしくお願いいたします
ます。

矢島主事 同じくスポーツ振興係の矢島です。よろしくお願いいたします。

加藤室長 学校教育部指導室指導室長、加藤と申します。よろしくお願いいたします
たします。

田村主事 指導室統括指導主事の田村と申します。よろしくお願いいたします
す。

三浦課長 事務局は以上のとおりでございます。
それでは、これより各委員から自己紹介をお願いしたいと思って
ございます。いきなりで大変恐縮でございますけど、着座のままで
構いません。一言ずつ順番に御挨拶をいただければと思います。
では、塩原先生のほうからお願いいたします。

塩原委員 小金井市立緑中学校校長、塩原と申します。よろしくお願いいたします
します。

瀧島委員 小金井第二小学校校長の瀧島啓司と申します。よろしくお願いいたします
たします。

天本委員 小金井第一中学校教員、天本と申します。よろしくお願いいたします。

板垣委員 小金井第二中学校教員の板垣と申します。よろしくお願いいたします。

島田委員 小金井東中学校の島田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

瀬沼委員 小金井緑中学校の教員をしています瀬沼と申します。よろしくお
願いします。

中村委員 小金井市体育協会の副会長を務めております中村と申します。どうぞよろしくお願ひします。

倉脇委員 小金井文化協会の倉脇と申します。よろしくお願ひいたします。

大林委員 公募で委員になりました大林と申します。今、娘が小金井第三小学校の今度6年生、今度緑中でお世話になります。昨年の三小のPTAの会長をしておりました。

梶野委員 公募委員の前原町に住んでおります梶野と申します。よろしくお願ひします。

鈴木委員 公募委員の鈴木と申します。どうぞよろしくお願ひします。
現在、南中に娘が通わせていただいております。バドミントン部所属しています。島田先生が御在任の頃に、この春大学生になる息子も野球部でお世話になりまして、2021年に明日の小金井教育プランと、前期31期の社会教育委員を務めさせていただきました。現役の保護者として発言をさせていただこうと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

砂子委員 同じく公募委員の砂子啓子と申します。
今、小金井一中に中三の次男がお世話になっています。小金井市剣道連盟のほうで剣道の指導者としてやっているところで、いろいろ個人登録で緑中さんとか南中さん、東中さんのほうでもいろいろお世話になっている者です。どうぞよろしくお願ひいたします。

依田委員 公募委員の依田です。緑町二丁目に在住しております。
私は今、小金井野球クラブという中学生軟式野球のクラブチーム、創部33年になるんですが、そこの代表と監督を兼任しています。監督は15年(「16年目」の意味です)、代表は4年目になります。大局的には物事を理解していませんが、この委員に応募させていただきました。いろいろなことを学べて、発言できるものと思ひております。

私はもう相当年齢がいつていますので、子どもたちはもう40近

い子どもたちですけど、3人、緑中を卒業しました。学芸大学のほうには1人、女の子です、もう15年以上前の話ですけど通わせていただきましたので、小金井市にはいろいろ縁がありますけど、よろしく願いいたします。

金子委員 東京学芸大学の金子と申します。よろしく願いいたします。
専門は一応教育社会学とか教育支援協働学とかをやっておりますので、いろいろとお話しできればなと思っております。よろしく願いいたします。

三浦課長 皆様ありがとうございます。そうそうたる皆様ということで、私も若干緊張してございますが、よろしく願いいたします。
それでは、これより正副委員長の互選を行いたいと思います。委員長及び副委員長につきましては、小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会設置条例第5条によりまして、委員の互選によって定めるものとされてございます。指名推薦により行いたいと思いますが、これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

三浦課長 御異議なしと認めます。
それでは、どなたか御推薦いただけないでしょうか。
中村委員、お願いいたします。

中村委員 着座にて失礼いたします。
今回の委員会は2年間の設置ということで、限られた時間の中で子どもたちのために中身の濃い議論が求められていると思います。その意味では、資料1を拝見いたしまして、学識経験者として東京学芸大学にお勤めの金子嘉宏先生が委員長にふさわしいのではないかと思いますので、金子委員を委員長に推薦いたします。

三浦課長 ただいま金子委員を委員長にという御推薦をいただきました。
皆様いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

三浦課長 御異議なしと認めます。金子委員を委員長とすることに決定しました。

それでは、これより先の議事進行につきましては、金子委員長にお願いしたいと思います。

金子委員、委員長席のほうに御移動をお願いいたします。

改めまして、熱い御挨拶を一言お願いいたします。

金子委員長 熱い御挨拶はないんですけど、いきなり御提案をしようかなと、ちょっとずっとさっきから思ったんです。何か学校対地域みたいになっていて、今後、席を変えたほうがいいんじゃないだろうかとちょっと思っておりまして、それはまた御相談させてください。急にすいません。

部活動は本当に、地域移行というのが教育としては喫緊の課題というところで、いろんな意味で喫緊の課題になっているなと思います。いろんなところで私も学校とか教育委員会とお話をさせていただくと、必ず出てくる話題の一つになっています。都市部と地方で全然課題が違ったりもするんですが、本当に多く部活動の地域移行ということがすごく今求められているところだなと思いますし、そもそも部活動って何なのだというところから、今ちゃんと議論をしていく時期なんだろうなと思っております。

いろんな具体的に進めなければいけないことを進めつつ、ぜひ皆さんと議論をさせていただきながら、本質的なところに迫っていければなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

そんな感じでよろしいでしょうか。

三浦課長 ありがとうございます。

金子委員長 そのまま進めさせていただきます。

続きまして、副委員長の互選を行いたいと思います。

副委員長につきましても、条例第5条の規定により委員の互選によって定めるとされております。指名推薦により行いたいと思いますが、これに御異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

金子委員長 御異議なしと認めます。塩原委員を副委員とすることに決定いたしました。

どなたか推選をいただけますでしょうか。

中村委員、よろしく願いいたします。

中村委員 副委員長職につきましては、委員長を補佐するとともに、やはり学校現場をよく御存じの御活躍の先生が適任ではないかと思えます。また、この委員会に市立中学校の関係者ということで現職の先生方も多く御参加いただいていますので、小金井市立小・中学校校長会、塩原真一委員を副委員長に推選させていただきます。

金子委員長 中村委員から塩原委員を御推選いただきました。

御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

金子委員長 御異議なしと認めます。

塩原委員、副委員長席へお移りいただきます。

それでは、熱い御挨拶を。

塩原副委員長 皆さん、こんばんは。緑中学校校長1年目、4月から2年目になるのかなと思います。南中学校には5年お世話になりました。

部活動は、依田さんほどじゃないんですけど、野球部顧問を10年、女子バレー部を12年、これが一番長いかなと思っています。いろんな部活をやりました。

皆様の御挨拶の中でも、地域移行ということで、教員の働き方改革とかいろんなことがございまして、やはり喫緊の問題というところがございますので、皆様の御意見を伺って、小金井ならではの地域移行に進めていけたらと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

こんな感じでよろしいでしょうか。

金子委員長 大丈夫です。ありがとうございました。

続きまして、小金井市立学校部活動の地域連携の在り方について

を議題としてまいりたいと思います。

事務局よりお願いいたします。

三浦課長

生涯学習課長です。

それでは、小金井市立学校部活動の地域連携に関する検討委員会設置条例に基づきまして、諮問の手続に入らせていただきます。

恐れ入りますが、教育長と金子委員長、御起立いただいて前のほうへお進みいただけますでしょうか。

それでは、教育長から諮問をお願いいたします。

大熊教育長

小金井市立学校部活動の地域連携の在り方について（諮問）。

中学校等における部活動は、これまで生徒のスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保し、生徒の自主的・主体的な参加による活動を通じて、達成感の獲得、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等を資するとともに、自主性の育成にも寄与するものとして、大きな役割を担ってきました。

しかしながら、部活動を巡る状況については、近年、少子化が深刻化する中、特に持続可能性という面での課題や、競技経験のない種目等を指導せざるを得ない点、休日も含めた運動部活動の指導や大会への引率、運営への参画が求められる点など、教員にとって負担となっていることも指摘されています。

このような中で、これまで「学校単位」で教員が担うことを前提として行われてきた部活動の教育的意義や役割を地域に継承・発展しつつ、生徒が地域でスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境を構築していく必要性について、生徒をはじめ、学校、地域、保護者で共通理解を得られるよう意識改革を図り、活動の地域連携・地域移行へ取り組むことが求められており、本市におきましても、生徒にとって魅力あるスポーツ・文化芸術活動を確保するとともに、教員の負担軽減につながる取組の推進が必要です。

つきましては、『小金井市立学校部活動の地域連携の在り方』について、貴検討委員会としてのご意見を賜りたく諮問します。

小金井市教育委員会教育長、大熊雅士。

よろしく申し上げます。

金子委員長

お受けいたします。

確かに拝受いたしました。皆さん、よろしくお願いいたします。

三浦課長 では、手続が終了いたしましたので、ここで教育長、大熊より一言御挨拶を申し上げます。

大熊教育長 皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

 諮問内容に全て書かせていただきましたので、その内容を検討していただければと思いますが、検討内容は多岐にわたりますので効率的に進めていただきたいと思いますと考えております。その際に、やっぱり考えておいていただきたい視点が何か所かありますので少し述べさせていただきますと思います。

 やはり大事な点は、諮問に書いてあることがほとんどなんですけれども、子どもたちにとっての部活動はこれまで大変な大きな意義があったと、私自身も経験しておりますし、そのことは紛れもない事実であるし、それを担ってきた教員の先生方の御努力もそれはそれは大変だったと思います。しかし一方、先ほどの諮問の中にもありましたけれども、部活動を経験していない先生がそれを担当せざるを得ない状況もあったことも事実であります。

 子どもの視点に立ってみると、どのような活動をどのような時期にやるかということは、もう一度検討してもいいのではないかと思います。つまり、学校の先生だけが担っているのではなくて、地域にもっとそういう技術を持った先生方もいっぱいいらっしゃるんで、地域を上げて子どもたちの部活動をしっかり構築していくということも、これから大切なことではないかなと思います。

 もう一つ地域部活動で、今学校の先生たちは子どもたちの関わり等どんどん変わってきています。日本のサッカーが強くなったのも選手一人一人の声を聞いたからというのは、いろんところで話題になるところであります。しかしながら、学校の一部それから地域のスポーツ団体の一部には、まだ昔のやり方で指導している部分もあります。大きく変わってきているけれども、学校と地域が一体となって、これからの子どもたちの未来をしっかりと見据えた教育の推進をしていく必要があると思うんです。そのときには、学校が核になりつつも、専門とする先生方と一緒によりよい子どもの部活動の在り方を検討していくことが必要ではないかなと思います。

 そのことを考えていくと、この諮問の中で、子どもの声を聞くと

いうことも一部必要な面もあるのではないかなと考えています。子どもが考えているだけではなくて、アンケートはすぐインターネットとかそういうものでとれますので、子どもたちはどういうことを考えているのか、子どもも指導室のほうで幾つかこれまでもとってありますので、そういうことを参考にさせていただいて、子どもの声をしっかりと反映した形で、地域部活、地域クラブ活動の在り方を検討していただきたいと、こんなふうに思うところがございます。

やはり、今後一番大事な点は、地域の子どもは学校を含めた地域で育てる。これが今一番大事なところなので、もう一度言わせていただきます。地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てるということを、これからどのように進めていったらいいかしっかり検討してさせていただいて、子どもたちのための新しい部活動を創造していただきたいと思いますので、皆さん、どうぞよろしく願いいたします。

三浦課長 教育長、ありがとうございました。

大熊教育長 すいません、今日は議会が行われている最中ですが、それもちよっと気になるというのがあるのですが、いられるだけいさせてさせていただいて、申し訳ないんですけど、そちらのほうに移動させていただくこともありますので、どうぞよろしく願いいたします。

三浦課長 原稿ではここで教育長中座になってございますが少しお時間があるようでございますので、よろしく願いします。
委員長、よろしく願いいたします。

金子委員長 ありがとうございました。決して出ていってくれというわけではないです。ありがとうございます。
続きますして、会議の運営などについて事務局よりお願いいたします。

越係長 事務局です。資料4、会議の運営等について（案）について御説明いたします。

1、会議録作成の基本方針等でございます。

まず、会議録について、①全文記録、②発言者の発言内容ごとの

要点記録、③会議内容の要点記録ということで3点ございます。このうち、事務局としましては全文記録で作成したいと考えていますが、これはいかがでしょうかというのが1点目です。

続きまして、附属機関等の会議録については、公開するよう努めなければいけないと定められておりますので、会議録を作成して公開していかどうかをお伺いできればと思います。公開に当たりましては、まず会議録を作成した後、委員の皆様の内容を確認していただきます。確認が終わったものを確定したのものとして、ホームページの掲載ですとか、第二庁舎の6階に情報公開コーナーというコーナーがございますので、そこで公開を考えております。

続きまして、会議録を作成するために録音をさせていただければと思います。ですので、発言の際には最初にお名前をおっしゃっていただいて発言いただければと思っております。

続きまして、2のところです。会議の公開についてですが、市民参加条例第6条の規定というものがございまして、市の附属機関等の会議は公開することとなっておりますので、事務局としては、公開させていただければと考えております。

続いて3番、会議の傍聴についてでございます。小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領というものがございまして、これに従いまして運営をしていきたいと考えております。

続いて4番、「意見・提案シート」につきましては、これは傍聴の方の御意見を伺うために設置するものでございます。この資料の裏面を御覧ください。「意見・提案シート」となっております。生涯学習課の他の附属機関等の会議の取扱いでは、「意見・提案シート」を設置して、記名があるものは紙面を含めて正式資料としています。無記名の場合は参考資料とさせていただいて、その内容については、委員長の方から審議に取り上げたいというお申出があった場合は審議を行います。こういった取扱いというのがございます。

そのシートの提出の期日なんですけれども、会議開催の1週間前までに届いたものについては、事前に配付資料として委員の皆様にお送りいたします。それ以降に届いたものは、会議の当日に配付することとしております。

事務局としては、このような取扱いを考えているところでございます。

説明は以上です。

金子委員長 事務局から会議録の作成方法など、会議の公開、会議の傍聴、「意見・提案シート」の取扱いについての御説明がございました。

生涯学習課のほかの附属機関などの会議と同様の取扱いということでもよろしいでしょうか。異議は特にございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

金子委員長 ありがとうございます。

それでは、このように決定させていただきます。ありがとうございました。

続きまして、6の国、都の動向、小金井市の現状についてです。事務局より説明をお願いいたします。

三浦課長 生涯学習課長です。

それでは私のほうから、雑駁ではございますが、学校部活動の地域連携や地域移行についてのこれまでの国や都の動き方について説明を申し上げます。

恐れ入ります、資料5の学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドラインを御覧ください。こちらは策定の背景といたしまして、令和元年7月に東京都が部活動に関する総合的なガイドラインを策定いたしまして、生徒の自主的・自発的な参加の促進、効果的・効率的な活動の推進を図ってまいりました。また、令和2年9月、国は休日の部活動の段階的な地域移行を図っていくことを周知したところでございます。

これを受けまして東京都における取組として、学校部活動の地域連携に関する検討会を設置し、持続可能なスポーツや文化芸術環境構築に向けた協議や、地域連携・地域移行に関する課題を整理してきたところでございます。これを一定程度まとめる形といたしまして、東京都におきまして学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドラインを令和5年3月に策定したものでございます。このガイドラインにつきましては、166ページ、分厚い内容でございますので、この資料はその概要をまとめたものとなっております。本ガイドラインの主な内容でございますけれども、ローマ数字ⅠからⅣまでの項目のとおり、Ⅰ学校活動、Ⅱ地域クラブ活動、

Ⅲ学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備、Ⅳ大会等の在り方の見直しについてを示してございます。

続きまして、資料6に進んでまいります。学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画のリーフレットでございます。この計画につきましては17ページでございます、この資料は概要をまとめたものでございます。先ほどのガイドラインを踏まえ、学校部活動に関する課題の解決を図り、実態に見合った地域連携・地域移行を実現するため、この計画では、令和5年度から令和7年度までの改革推進期間における取組の展望を明らかにし、都内公立中学校等の部活動の地域連携・地域移行を推進することを目的として定めてございます。

推進目標につきましては、令和7年度末までに、都内全ての公立中学校等で、地域や学校の実態に応じ、地域連携・地域移行に向けた取組が行われることを目指すとされてございます。

3、現状と課題、4、取組の方向、5、都の取組は、記載のとおりでございます。

裏面でございます。6、区市町村の取組についてでございます。区市町村におきましては、1つめとして「地域連携・地域移行に向けた協議会等の設置」、2つめ、協議会での協議内容を踏まえ、「方針及びスケジュール等を示した計画等の策定」、3番目といたしまして、「計画等に基づく地域連携・地域移行の推進」と示してございます。これらの取組に着手することで、生徒の皆様がスポーツ、文化・芸術活動に継続して親しむ環境の充実を図っていくこととしてございます。

7、地域連携・地域移行に係る成果指標、8、推進計画の見直しという項目立てもついているところでございます。

続きまして、市の取組のほうに進んでまいります、資料8をお手元に御用意ください。こちらにつきましては説明は、事務局、交代いたしまして指導室のほうからお願いいたします。

加藤室長

指導室長、加藤でございます。よろしくお願いいたします。

資料8について、ポイントだけかいつまんでお話をさせていただきます。こちら小金井市立中学校の部活動に関するガイドラインということでございます。先ほど、生涯学習課長から資料5の説明があったかと思いますが、資料5ところに東京都のガイドラインのことが載っております。ここに、内容としてⅠ、Ⅱ、Ⅲ、

IVというふうにあります。その中のIの部分、左側の部分、この部分について、都のガイドラインを参考にしてつくったものということになります。つまり、現行の学校部活動の運営をどのようにしていくか、その部分についてのガイドラインということで御理解をいただければと思うところでございます。

では、お聞きいただきまして、まず4ページを御覧いただけますでしょうか。ここから第1章ということで始まってございます。既に学校の先生方は十分御承知の部分かと思いますが、一般公募の委員の方もいらっしゃいますので、改めて触れさせていただきます。現行の部活動、学校部活動については、中学校の学習指導要領の中に記載があるものでございます。1の(1)のところはそのことが説明書きがしてありますが、学校の部活動については教育課程外の活動ということになっております。ただ、教育課程外ではあります。学校教育の一環として教育課程との関連が図られるように留意することと、こういったような位置づけになっているところでございます。

それから、(2)の部分に部活動の教育的意義として、ここは東京都のガイドラインのほうを引いてございます。これは、先ほど教育長から諮問としてお話をさせていただいた部分につながるものかなと思います。現在での部活動の概念について整理されているものということです。後ほどじっくりお目通しいただければなというところでございます。

では資料をおめくりいただきまして、6ページを御覧いただけますでしょうか。6ページの(3)に、休養日や活動時間の適切な設定というところがございます。現行の学校部活動につきましては、ガイドラインで特に活動時間や休養日について示しているところでございます。活動時間については、平日が2時間、休日が3時間というのが一定の目安になっています。ただ、大会のような場合には若干それを上回ることもあります。そういったような一定の時間を示してあるというところでございます。詳しくは後半のほうに書いてありますが、そういった状況であるということと、あとは休養日を必ず設けるようにということがガイドラインに入っています。平日1日、休日1日というところで休養日も設ける。過度な身体的負担にならないようにというところが、こういったところに反映されているものでございます。

それから、(4) 番に外部の指導者を含めた指導体制の充実というところがございます。この2行のところに書いてあることで、部活動指導員というものと外部指導者というものが出てまいります。後半のほうにも記載が出てはおりますけれども、部活動指導員と外部指導者のざっくりとした違いというところ、部活動指導員については、先生方が担っていただいている、いわゆる顧問とほぼ同じ内容を担っていただけるものとイメージしていただけると分かりやすいかなと思います。ですので、例えば大会の引率とか、そういったところも担っていただけるということでございます。

それから、外部指導者、外部指導員などと言われますが、こちらについては、専門的な知識だったり技術をお持ちの方がスポット的に技術指導をしてくださる、そういったような方とイメージをしていただければと思います。基本的には外部指導員の方は引率等はできないことになっているところがございます。

こういった違いがあって、現行はこのような方々が先生方の部活動の運営を支援していると思っただけだとよろしいかと思えます。

教育委員会としましては、現行の学校部活動のほうもやはり先生方の御負担になっているところが課題として上がってきておりますので、この部活動指導員については小金井市においても年々増員を図っているところでもございます。

では、おめくりいただきまして7ページですね。ここには項番の3として、部活動指導者の役割という記載がございます。四角囲みの中に主な役割が書いてございます。なかなかイメージを持ちづらい部分かなと思いますが、黒丸が幾つありますが、これだけの内容を先生方は部活動の運営に当たって担っていただいているというところがございます。恐らく、なかなか教員以外の方には御理解いただけていない部分とか伝わっていない部分も多々あるかなと思います。表側から見てもなかなか分からないものも含めて先生方に担っていただいているというのが、少しここで感じていただけないかなと思っただけのところでもあります。

その下に、先ほど御説明した部活動指導員の主な役割というところも四角囲みでございます。

それから、8ページの(5)を御覧いただければと思います。外部の指導者による適切な指導というところがあります。やはり部活

動の指導については、先ほど教育長からもありましたが、この指導の在り方ということが以前とは大きく変わってきている部分というのがございます。私が子どもの頃と言ったら何ですけど以前とは随分状況が違ってきているかなというところもあります。指導に当たる方については、そこのところを十分理解をして中学生と接していただく、そういうことが必要になっているので、ここに確認事項例として、このような内容が出てきてございます。地域連携・地域移行を進めていく中で、教員以外の方が活動に関わっていく際には、指導者としての研修とか学びが必要になるといったところは、この中でも議論になってくる部分かなと思いますので、参考にさせていただければなと思うところがございます。

それ以降のところには、先ほど私がお話しさせていただいたことが細かく書かれております。後ほど御覧いただければと思いますが、最後に15ページをお開きいただけますでしょうか。15ページに、項番4の生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境整備というものがございます。以前も東京都のガイドラインに位置づくものというのがあったのですが、今回、令和5年3月にガイドラインが出ましたけれども、先ほどの新たな地域クラブ活動とか、そういったところはさておき、現行の学校部活動に関する記載で変わったなというところがこの部分でございました。

アのところに書いてございますけれども、技能等の向上や大会等で好成績を収めること以外にも、気軽に友達と楽しめる、適度な頻度で行える等、生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる環境を整備するといったことが記載されています。実際の子どもたちのニーズというところも、大会で入賞するといったこと以外にも、楽しく部活の運動をするといったところに子どもたちのニーズも変わってきている部分もありますよと、そこを踏まえて学校部活動を考えていかなければならないということも、一つここで示唆されているところがございます。

雑駁ではありますが、説明は以上です。

金子委員長

ありがとうございました。

事務局より御説明いただきました。委員の皆様から御質問がございましたら挙手をして、お名前を言ってから発言をしてください。こういう場だとどうしても発言をする前に名前を言うのを忘れて

しまうんですけど、名前を言ってから御発言いただければと思います。

ちょっと長い、いろいろと情報が詰まった御説明だったと思いますので、すぐにそしゃくするのは難しいかな。

どうぞ。

大林委員

公募委員の大林です。

今、小金井市の現状で、外部指導員を増員するという話がありましたけれども、今の現状でどれくらいの人数がいて、その人たちはどういう形で指導員になったというところが結構

加藤室長

よろしいですか。

金子委員長

お願いします。

加藤室長

指導室長です。

部活動指導員、顧問の配置が始まったのが令和2年だったかと思えますけれども、5人から始まりました。各校1人ということですね。その後、増やしてきて、現在は10人、各校2人ということになってございます。次年度についても増員を図りたいということで現在、見込んでおりますけれども、まだ次年度の小金井市の予算が議決を経ていませんので、ちょっとそこは具体的には申し上げられませんけれども、増員は少しずつ重ねてきているというところでは

実際担っていただけている方というのは、基本的には学校がいろいろなところから情報を得て依頼をして受けていただいている。学校側から推薦をしていただくとか探していただくことがほとんどでございます。

ただ一部、なかなか見つからないという部活がある場合には、東京都のほうにもそういう人材配置についての支援をする組織がございますので、そこに照会をかけて教えていただいていると、そういうようなこともあるところでございます。

以上でございます。

金子委員長

よろしいですか。

大林委員 ちなみに、学校での実態はどうなんですか。学校で直接やっている人は保護者なのか、それとも地域のそういう指導者を探すのについてがあるのかというところで。

金子委員長 学校に設置されている人が、学校側としては。

大林委員 学校側としてどういう動きをしているのか。

金子委員長 各学校でどういう方が配置されているか、お答えできますか。

天本委員 一中、天本です。

 本校も2名、来ていただいております。今、部活指導員のお話でよろしいですよ、外部指導員じゃなくね。

 部活指導員は野球部に1名、それから、たしかソフトテニス部に1名だったと思います。ソフトテニス部のほうに関しては、すいません、私ちょっとどういう経緯でかは分かってはいないんですけども。私は野球部なもので、野球部に関してはOBであり、かつ、元生徒のお兄ちゃんでもありという地域の力として、高校野球をある程度かなりばりばりやられていたという立場で、このお話がある前から面倒を見てくれていた方、ノック打ちにきてくれたりとかです。こういう形で1人予算もつけていただけるチャンスがあったということで打診したところ、大学院卒業までは可能性としてはあるということで、今引き受けていただいているという現状です。

金子委員長 大学院生ということですね。

天本委員 そうですね。

金子委員長 ほかはいかがでしょうか。

板垣委員 第二中学校、板垣です。

 本校部活動指導員は今、ウインド・アンサンブル、いわゆる吹奏楽部に1名、バドミントン部に1名います。

 部活動指導員、各校2名までという条件下なので、例えば、私はサッカーなんですけど、サッカーのほうに欲しいと言っても、私自

身は技術指導ができるので、そっちには置けないよという。技術指導ができないけれども管理顧問というところで見ざるを得ない部活動、例えばウインド・アンサンブル部でいえば、前任の顧問が異動してしまったので技術的に見れる方がいないからということで、たまたま本校のスクールカウンセラーの方がもともと音楽科の教員でということもあって、ウインド・アンサンブル部を見ていただいているというのが現状です。バドミントン部も、恐らく前任の顧問のついででその当時からいらっしゃった地域の方なのかなと思うんですけど、ちょっとそこまでは存じておりません。

第二中学校は以上です。

島田委員

東中学校の島田です。

本校も2名お願いしています。

一つはソフトテニス部で、私、6年目なんですけど、それ以前から外部指導員という形で引っ張っていただいていたようで、部活動指導員というものができてから部活動指導員としてお願いしております。うちはまた外部指導員というのはあるんですけども、年数があります、それは。また部活動指導員ということで。教職の経験もあるという方です。

もう一つはバレー部です、本校は女子バレーしかないんですけども。バレー部に1人見ていただいています。その方は、以前お子さんが東中に在籍していて、本校でも女子のバレーの指導ができる者がいなくなってしまったので、部活動指導員ということで来ていただいています。

ソフトテニスのほうに部活動指導員を入れさせていただいたのは、うちは女子しかいないんですけど、まずテニスのほうは会場が分かれたりするというのもあって、そんなことで部活動指導員は引率もできるということでお願いしています。

また今困っているのがバドミントン部で、バドミントン部はうちは男女ありまして、バドミントンも会場が分かれたりするというのもあって、先ほどお話がありましたけど、もし、もう1名部活動指導員が各校1人増やせるのであれば、そういった形でもお願いしたいなと考えているところです。

以上です。

金子委員長 ありがとうございます。

瀬沼委員 緑中、瀬沼です。

 本校の部活動指導員に関しては、弦楽部に1名とテニス部に1名です。

 弦楽部のほうは、以前、指導者がいたんですが、その方が異動された関係で、弦楽は特に専門的な知識がないと指導がしづらいということから、本校外部指導員で来てくださっていた方が、そのまま部活動指導員という形で、今、見てくださっています。

 もう1名のテニス部に関しても、以前、指導者がいて技術的な指導ができる方がいたんですが、その方が異動された中で、なかなか人数も男女合わせて40、50近くいるので見切れないということもあり、土曜、日曜とかも男女一緒に見てしまうと、教員のほうが1日拘束される場合とかもありますので、そういったところの負担でということ、大学生に今お願いして来ていただいているという形で、もちろん顧問のほうもいるので、部活動指導員を含めて全部で4人体制で、うまく休みを入れながら輪番で部活動の指導をしているという形になっています。

 以上です。

金子委員長 よろしいですか。

依田委員 参考として聞かせていただいてよろしいでしょうか。依田です。
 今、部活動指導員の話が出ました。10名の方がおられるということで、1週間に何時間、活動をされているのか、参考にお聞かせ願えますでしょうか。

金子委員長 分かる範囲でいいです。

天本委員 天本です。

 正確な時間はちょっと分からないんですけども、野球部の場合、平日4日間、土日どちらか来ていただいているというところで、ほぼ活動日全て来ていただいているのが現状としてはあります。ただ、それは全部予算、お金が出ているかということそうではないと思います。それが正直なところですよ。

ソフトテニス部に関しては、すいません、ちょっと存じ上げないので。

板垣委員

第二中学校、板垣です。

スクールカウンセラーさんなので金曜日はいらっしゃるんですけど、それは多分スクールカウンセラーさんとしての勤務だと思うので、だからどこまでがカウンセラーさんとしての勤務なのか、どこまでが部活動なのか、学校にはいらっしゃるのを見てはいるんですけど、ちょっとその部分の把握はしていないというのと。ただ、部活のある日はほとんどいらっしゃるイメージです。実際のデータとかが手元にあるわけではないので、申し訳ない、把握してないです。

依田委員

ごめんなさい。平日は金曜日とおっしゃられましたけど。

板垣委員

金曜はカウンセラーさんとしての勤務日でいらっしゃって。

依田委員

金曜日以外のも。

板垣委員

ウインドが週三、四、活動がある中で、校内にはいらっしゃることはあると思うんですけど。その回数を数えているわけでも何でもないの、把握していません。

依田委員

私がおおむねで聞いたかったのは、要するに平日に来られているのかということと、それから土日が午前午後でやると4パーツあると思うんですけど、それをどんな形で指導していただいているのかということ参考を聞いたかったわけです。

板垣委員

平日も土日もいらっしゃっていると思います。

依田委員

そうすると、ごめんなさい、土日は午前と午後とあるじゃないですか。

板垣委員

午前と午後とあるというか、基本休日は3時間なので。

依田委員 ということですね、分かりました、了解です。

板垣委員 どちらかで、午後に活動しているときは午後にいらっしゃるし、
午前活動しているときは午前いらっしゃる。

依田委員 はい、了解です。

島田委員 東中の島田です。

ソフトテニス部に関しては、月2回ほど土曜日に行っていますが、
大体午前中です。そこは来ていただいています。平日は週3回ほど、
週4日活動しているんですけども、3回来ていただいています。

バレー部の方は、体育館の日が週2回あるんですけども、そこは
来ていただいています。外の活動も2回あるんですけども、そのう
ちの1回ぐらいは来ていただいています。そのような感じですが、よ
ろしいでしょうか。

ごめんなさい、土日もあるときもあるので、試合前とか。そのと
きも来ていただいています。

依田委員 私、ちょっと知識がなくて申し訳ないですが、だから、基本的に
土日あって、そのうちの3時間が費用が手当てされて、原則そこ
に来るよというようなイメージで受け止めてよろしいんですかね。

先ほど、休日は3時間という話があったので、二中のほうから。
そこはちょっと私は分かってないだけなんで、ちなみに、例えば、
私どもの野球のほうはこんな感じですよって感じになるんですが、
それでちょっと知りたかったというだけなんですけど。

島田委員 休日3時間というのは二中だけじゃなくて。

依田委員 みんな一緒なんですね、了解です。

島田委員 みんな基本は、大会以外は。

依田委員 ありがとうございました。

瀬沼委員 緑中です。

正確な日数は把握していませんが、休日、その午前か午後の3時間、どちらか1回は外部指導員の方が来て指導してくださっています。

平日に関しても、週3、週4どちらかあるんですが、全部がいるというイメージはないですが、大体半分ぐらいはいるような、すいません、僕のイメージになります。なので、その3時間分は休日に行ったり、平日2時間分は何回か行ったりします。

依田委員 ありがとうございました。

梶野委員 梶野ですが。

手当について、今、教員の皆さんって休日なんか部活動の手当が出ますでしょうか。それは、今言ったこの部活動指導員も同額なんですか。

加藤室長 すいません、指導室長です。

ちょっと今金額は持ってきてないんですが、同額ではないです。時間給みたいな形になっていますので。教員の方は、3時間以上で3,000円、確か特別勤務の手当みたいになっていますけれども、部活動指導員については、例えば休日7時間活動すればその7時間分は出るというのが基本になっています。ですので、先生方とはちょっと違う。1時間幾らだったかは、ちょっとごめんなさい、今手元がないので。

梶野委員 要するに時間給、分かりました。

中村委員 よろしいですか。

金子委員長 どうぞ。

中村委員 私がなぜ発言するのかとちょっといぶかしむ方がいらっしゃるかもしれませんが。私の知る範囲においては、たしか南中の野球の外部指導員の方は、いわゆる身分っていいですか待遇といいですか、市の会計年度任用職員という待遇で契約を結んでいる。というのは、今後の議論の参考になるかと思ひまして御紹介します。全部

が全部か分からないんですが、市の会計年度任用職員という形での契約を結んでおられます。一応、御参考までに。

依田委員 ごめんなさい、そうするとどういう時間帯になるんですかね。

中村委員 それは市の。

加藤室長 時間帯というか、市の会計年度の職員という方は全員、部活動指導員はそういう位置づけになっているということです。それで、お仕事をされたというか指導に入っていた、平日であれば基本2時間、休日であれば基本3時間、その実績に基づいて時間給が支払われる、そういうふうに理解していただければよろしいかと思えます。

依田委員 分かりました。ありがとうございます。

砂子委員 砂子です。お願いします。

令和7年度末までに移行に向けた取組を実施しなければならないというところで、すごく短い時間なので、今現在の全ての部活動を移行するというのは、ほぼ現実的に難しいと思うんですけれども。今回のこの委員会の目的としては、移行に向けた取組を実施すると書いてあるので、移行は完了しなくてもいいということなんでしょうか。移行に向けた取組を少しでも実施できればそれが推進になるという形なのか、具体的に1つでも2つでも改善ができればと思っているので、本当にできればと思うんですが、というところが1つ。

あと、新たな生徒さんたちの意見を聞いたりすると、今現在の部活についてのことの意向なのか、それとも、生徒さんの意見、多分ダンスだったりブレイキンだったり、何かいろんなもの、あと文化的なことたくさんいろんなことやりたいなど、新しい部活を考えたりとかするんじゃないかと思うんですけれども、そういうところはまた別のこととしてするのか。具体的なその着地点というか、その方向性を教えていただきたいです。

三浦課長 生涯学習課長です。

ただいまの御質問でございます。まず、令和7年度末までにとい

うこととございますので、期限とすると令和8年3月末ということになります。

今おっしゃっていただいたとおり、現実的には全ての部活動を網羅するというのはなかなか難しいかなというのも思っておりますので、今御提案いただいたとおり、例えば1つでも2つでも種目を限定してというような事例は、多摩地域の各団体さん、別の市ではあるように聞いてございます。これからの委員会での議論になりますので、今この場でどこまでが目標かというのはなかなか申し上げにくいんですが、現実的なところも見定めていく必要があるかなと考えるところでございます。

2点目、新たな部活についてもターゲットに含めていくのかというところも、これも切り口としてはこれから議論すべきことかなとは思っておりますが、その部分についても今後、今日正副が決まりましたので、改めて協議させていただいて、どこかの段階で、この委員会で議論する目標というか切り口というか、そういう部分についても整理をしたいと考えてございます。

以上です。

金子委員長

ありがとうございます。

私もそこら辺のことはお話をずっとさせていただいているところではありますし、現実的に全部というのは、それは無理だよ、2年間ではできるのは無理だと思っておりますので。何となくイメージとしては、プロトタイピングとしては幾つかの競技ということと、本質的というか、こういうやり方でやっていったらいいんじゃないのかということを考えていければいいのかなと思います。

そうしたら、これが終わった後でもだんだんと移行していくという道、方向性を示せばいいのかなと思っておりますので、そこら辺の議論をさせていただければと思います。

本格的には4月入ってからということで。

三浦課長

なかなか申し上げにくいです。

今日は皆様初対面ということでございますので、会議の運営とかその辺の基本的なところのルール決めたいなと思っておりました。

役所的な話で大変恐縮なんですけど、今新年度予算の予算審議中で

ございまして、この委員会にかかる経費などを予算委員会で審議される予定になってございます。なので、そちらの結果を待って次に進んでいこうと思っております。具体的には令和7年度から、今度はこの会議をサポートするコンサルなども入れたいと思っておりますので、そちらも含めて、皆様に御報告したいと思っております。

本格的なところは4月以降、後ほど次回の会議日程なども御協議したいなと思っておりますが、その辺も含めてお願いしたいと思っております。

以上です。

中村委員 今の件で御質問、よろしいですか。

金子委員長 はい。

中村委員 今、三浦課長がコンサルとおっしゃいましたけども、どういう役割分担をされるのか、ちょっと教えていただきたい。

三浦課長 これも予算の審議の内容でなかなか答えにくいところではありますが、まず、この委員会のサポートでございます。それから、全国各地、今いろんな事例があるように聞いてございます。そちらの情報の集約とか、ここの自治体についてこういうことを調べてくれというオーダーをすれば調べていただけるという形で契約を結びたいと考えてございます。

以上です。

中村委員 ありがとうございます。

金子委員長 コンサルと言ってもいろいろ多分あると思うんですけど、私としては何となく全体のマネジメントをしていただけるといいのかなと思っておりますし、多分、現状の認識というものがなかなか多岐にわたることなので、そこら辺を一定程度整理していただきながら、情報を入れていただくということも重要になってくるかなと思います。

皆様、今日質問がすごくたくさんあったけど、あまり答えられな

いんだろうなという気もちょっとしているところがあるので。本格的には、年度を越えて新年度に入って新たに議論させていただければなと思っております。

僕的には、まず席替えから始めたほうがいいかなとちょっと思っているところがありますので、また相談させてください。

それでは、最後の議題7に移ります。

その他ですね。委員の皆様から何かございましたら挙手して、お名前を言っていただいた後、御発言をしていただければと思います。結構、今、皆さん出たかなという気がしますが、その他で何かこれを言っておきたいということがありましたらと思うのですか。どうぞ。

鈴木委員

公募委員の鈴木です。

先ほど事務局に資料としてお渡ししたんですが、今、民間企業と学校、スポーツ庁、経済産業省のサポートを受けて、この部活動の地域移行について、いろんな情報を発信するプラットフォームとして「イマチャレ」というのがあります。イマチャレって検索していただければ、もう、そのままずばり出ます。

そのイマチャレの昨年1年間、その方々がやってみたいいろんな課題ですとかそういったことを整理して発表するというイベントが3月28日にオンラインであります。Peatixで券は無料で取ることができますので、お時間があればぜひそれを聞いたり見たりしていただいて、会議の参考にしていただければと思います。

以上です。

金子委員長

本当にすごく人が集まると聞いております。部活動の地域移行とかのシンポジウムをすると700人とか集まってきたりするとうふうにお伺いしておりますので、本当にホットな話題だということかなと思います。

ほか、皆さんから何か、どうぞ。

中村委員

私、今日ちょっとある教育委員さんとお話ししたときに、近隣自治体がどういう状況であるかというのを伺いました。そうすると、これは三鷹市の例なんです、審議会があつて、その審議会に当たってまずアンケートを取ったということです。学校とか保護者の方

とか生徒とか、いろいろアンケートをとったということなんですね。

ですから、こういう議論を始める前にやっぱり現状分析というのは私必要だと思います。現状分析を進めた上で、いろんな議論を戦わすというのが一番大事だと思います。指導室長がおっしゃいましたように、生徒のニーズを踏まえたスポーツ、文化・芸術環境の整備ということにも書いているように、まず現状把握をした上でこの議論を始めていくということが大事だと思いますので。お金もかかることではあると思うんですが、アンケートを実施して、そのアンケートの結果を踏まえた上で議論していくという方法も、まあお金はかかると思うんですが、一つのやり方ではないかなと、私、その教育委員さんとの話の中で思いました。

ちょっと御参考までに。

加藤室長

指導室長です。

アンケートについて今、話題が出ましたので、少し情報提供できればと思います。

小金井市教育委員会のほうでも、学校と先生方を対象にはアンケートは実施しております。昨年度、初めて実施をしまして、今年度も、今まさに実施し終わって集計中といった段階です。一定程度、子どもたちが今どういうものを求めているのかとか、そういったことについては4月以降で御提供できる部分もあろうかなと思ってるところです。

以上です。

金子委員長

ありがとうございます。

基本的に定量の調査と定性の調査というのは両方必要で、実は定性の調査をする前から定量の調査をしてしまうと、何のデータを集めているのかという話になってしまうことも多々あるんですね。やっぱり、じっくり状況を確認しながら、アンケートも含めて分析をしていくということが重要になってくるかなと思います。ですし、都とか文科省が出しているところはあるにしても、小金井市の部活動の皆さんがありがたい姿というか、こうなったらいいんだなというところの認識が一致しないと、まさに問題も見えてこないし、ありがたい姿、こうなったらいいなと思っているけど、今こうなっているなというところが多分問題だと思いますので、そこを最初にどこか

のタイミングで、どういうふうになったら子どもたちにとって一番いい部活動なんだろうかということ、どこかでは話さないといけないかなと思っているところです。

ぜひよろしく願いいたします。

ほかはよろしいでしょうか。大丈夫ですかね。

事務局より連絡事項はありますでしょうか。

三浦課長

生涯学習課長です。

私どものほうから今日の段階で連絡事項はございませんけれども、次回の委員会、まだ日程までは決めていないんですけれども、開催時刻についてでございます。平日の夕方で、皆様よろしいでしょうか。開始のほうは6時もしくは6時半ぐらい、おおむね2時間と考えてございますけども、そちらでよろしいでしょうか。特に先生方、ちょっと早いかなという御意見もあつたりしますが。

板垣委員

第二中学校、板垣です。

基本的にどこの学校も平日は部活は18時までですか。冬季じゃない場合は、多分学校によって、暗くなる時期等によって変わると思うんですけど。本校の場合は、3月から10月までは18時までとなっているので、18時ぴったり開始だとちょっと、今日も私、解散だけ体育科をお願いして来ているので。

三浦課長

分かりました。

その御意見も踏まえて、ちょっと会議の時間の開始時刻を考えさせていただいて、次回、4月以降、正副のほうと日程を調整させていただきまして、なるべく皆様のほうに早めにお伝えしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

金子委員長

ありがとうございます。

そのほか特にないようでしたら、本日の議事は全て終了いたしました。

本日の会議を終了させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、本日はありがとうございます。